
ひとりのきもち

深紫 流星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひとりのきもち

【Nコード】

N3259C

【作者名】

深紫 流星

【あらすじ】

待つときってこんな気持ち・・・かな？

いつてきます

朝、そう言われてひとりになるね。

いつもさみしいけど、仕方なく我慢してるんだよ。

ご飯はあまり食べないんだ。ひとりで食べても美味しくないから。

早く帰ってきてくれることだけを考えて待ってるんだよ。

日曜日にいっぱい遊んだことを思い出しながら待ってるんだよ。

いろいろな付き合いがあるのはわかってる。でも、早く帰ってきてほしいんだ。

ひとりの時間はなんでこんなに永いんだろう・・・。

一緒にいる時間はすぐに過ぎていくのにね・・・。

鍵をあける音が聞こえると、玄関に走っていくんだ。

ただいま

その言葉が、一番うれしい言葉になっちゃった。

一緒に食べるご飯は本当に美味しいね。なんでだろうね。

待たされた分、いっぱいお話したくて付きまとってごめんね。迷惑かな。

でも、優しく抱きしめてくれるね。幸せな瞬間だよ。

この時間が永く続けばいいのになあ。

このまま時間が止まってしまえばいいのにな。

おやすみ

この言葉も嫌いだ。寝てしまって、朝になるとまたひとりになっちゃうから。

だからいつもベットのなかでも遊んじゃうんだ。楽しい時間を終わりにしたくないから。

仕事で疲れて帰ってきてるのはわかってるよ。

でもさみしかったんだもん。少しくらいわがままでもいいよね。

となりで寝顔を見るときも幸せだなんて思うよ。

寝るときはいつも神様をお願いするんだ。ふたりの楽しい夢が見れますようにって。

同じ夢を見る方法ってないのかな。

それなら寝ているときも一緒に楽しいのにね。

おはよう

またさみしい朝が来ちゃった。

日曜日の朝ならいいのにな。はやく日曜日にならないかな。

今日も早く帰ってきてね。

いつてらっしやい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3259c/>

ひとりのきもち

2011年1月26日06時15分発行